

## 会 議 録

会議の名称	豊中市地域公共交通協議会		
開催日時	令和2年(2020年)2月21日(金) 10時00分～12時00分		
開催場所	豊中市役所第二庁舎 3階 会議室	公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可
事務局	都市基盤部交通政策課	傍聴者数	5人
公開しなかった理由			
出席者	委員	猪井委員、野津委員、須磨委員、川崎委員、茂木委員、中川委員、大南委員、青木委員、田中委員、後藤委員、清水委員、南尾委員、父川委員、上北委員、日田委員	
	事務局	小森次長兼交通政策課長、相良副主幹、日高係長、山本主任、穴井主事、播磨	
	その他	オブザーバー 石塚 裕子 株式会社建設技術研究所	
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 豊中市西部地区乗合タクシー事業について</li> <li>2. 具体的実施施策の検討状況について</li> <li>3. 今後のスケジュールについて</li> <li>4. その他</li> </ol>		
審議等の概要 (主な発言要旨)	別紙のとおり		

## 第7回 豊中市地域公共交通協議会 議事要旨

日 時	令和2年2月21日(金) 10時00分から12時00分
場 所	豊中市役所別館 3階 会議室
出 席 者	猪井委員、野津委員、須磨委員、川崎委員、茂木委員、中川委員、大南委員、青木委員、田中委員、後藤委員、清水委員、南尾委員、父川委員、上北委員、日田委員、石塚オブザーバー
欠 席 者	奥野委員(代理:篷郷氏)、田中委員(代理:松尾氏)、小森委員
事 務 局	都市基盤部交通政策課:小森、相良、日高、山本、穴井、播磨
傍 聴 者	5名
案 件	1. 豊中市西部地区乗合タクシー事業について 2. 具体的実施施策の検討状況について 3. 今後のスケジュールについて 4. その他
資 料	【資料1】豊中市地域公共交通協議会 名簿 【資料2】西部地域乗合タクシーの現状について 【資料2-1】西部地域乗合タクシー事業の現状について(利用状況2020年1月まで) 【資料3】西部地域乗合タクシーの今後の方向性について 【資料4】市内公共交通網の見直しについて 【資料4-1】西部地域乗合タクシー事業について 【資料5】(仮称)豊中市公共交通改善実施計画 【東西軸の強化施策・東西軸路線編】(素案) 【資料6】その他の施策の実施状況について 【資料6-1】その他の施策の実施状況について 【資料7】豊中市公共交通改善計画関連 工程表 【参考】西部地域乗合タクシーの運行実績

会 議 録 下記のとおり

### ●開会

### ●資料確認

事務局

(資料確認)

### ●オブザーバー紹介

事務局

議事に入ります前に、本日は学識経験者である大阪大学の石塚様にオブザーバーとしてご臨席していただいております。石塚様は、ユニバーサルデザイン、ユニバーサルツーリズム等をご専門に研究されており、当市においてはバリアフリー協議会において、ご指導いただいております。公共交通改善計画の基本方針2「誰もが利用しやすい公共交通環境づくり」等に新たな視点でのご意見を賜りたく、当協議会の委員交代の

タイミングである、本年3月20日より正式に委員として参画をお願いしており、本日はオブザーバーとして、出席をいただいております。よろしくお願いいたします。

今後の議事については会長をお願いいたします。

## ●「1. 豊中市西部地区乗合タクシー事業について」

### 会長

それでは、次第に従い進めてまいります。

次第1. 豊中市西部地区乗合タクシー事業について、事務局からご説明いただきたいと思います。

### 事務局

(資料2、資料3について説明)

### 会長

ありがとうございます。

説明いただいた点について、ご意見ご質問ありましたらお願いいたします。

### 委員

ただ今、アンケートや実態調査結果を報告されましたが、私は2つ感じました。

1点目は、本日の資料にも記載されていますが、西部地域乗合タクシーの利用者が多いのは、西部地域北路線及び西部地域南路線ともに第4便です。第4便は午後便であり、午前中に予約すれば乗ることが出来ます。朝の第1便から第3便は前日の17時までが予約受付の期限ですよね。利用者としては、予約受付の時間を直前までにしてほしいと思います。

もう一つは、西部地域乗合タクシーでの利用目的が買物と通院が多いと思ったのですが、この資料を見ると、通院での利用が少ない。何故かという、病院は朝早く行って順番を待たないといけないことと、いつ終わるのかわからないので、帰りの便の予約をできないという所があると思います。よって、第1便の運行時間を繰り上げ、最終便の運行時間を繰り下げる等の工夫が必要ではないかと思います。

今後、改善されるということですが、住民の意見ということでご配慮お願いしたいと思います。

### 会長

資料について、西部地域乗合タクシーの利用目的を確認したいのですが、買い物が多いとおっしゃっていましたが、資料2の16ページに記載されている利用者アンケートの結果での利用目的を見ると、通院利用が多いように見えているのですが、委員はどちらをご覧になっておっしゃったのでしょうか。

### 委員

資料2の7ページです。

### 会長

住民アンケートによる地域の方の移動実態は買い物が多いですが、西部地域乗合タクシーの利用目的では、

通院目的が多いのではないかと思います。そのあたり、事務局でご確認をお願いします。

また、西部地域乗合タクシーを運行している阪急タクシーさんにお伺いしますが、今の予約の実態としては、いかがでしょうか。予約受付の時間を伸ばす事は可能でしょうか？

## 委員

予約受付時間について、検討することは出来るかと思いますが、平日の朝や夕方は、一般のタクシー利用が多い時間帯であるため、西部地域乗合タクシーの午前中便については、予約受付を前日に締め切っています。その理由は、運行する車両を確保するために必要な時間を設ける必要があります。

実際は電話をいただいても、対応が難しいこともあるので、前日までとしています。昨年の10月から運行を開始して3か月程度なので、今後状況を見ながら、柔軟な対応ができるか検討したいと考えています。

## 会長

一般のタクシー車両を活用している運行情報ということですね。西部地域乗合タクシーの利用目的について、お願いします。

## 事務局

資料2の7ページにある外出は、西部地域乗合タクシーの利用者に限っているのではなく、普段の外出時における外出目的であるため、他の交通手段で外出されている方も含まれています。よって、西部地域乗合タクシーに限らず、買い物目的の外出が多いという状況のデータとなります。

資料2の14ページの左側にある円グラフは、利用者への聞き取り調査による外出目的を割合で示させていただいています。サンプルが少ないのですが、西部地域乗合タクシーを利用した外出目的で通院利用されている方が約40%となっています。よって、西部地域乗合タクシーを利用されている方は通院目的での利用が多い状況です。

ただし、予約受付時間の改善の必要性を否定するものではありませんので、利用しやすくなるように検討を進めたいと考えます。

## 委員

地元の皆さんの意見も報告書でだいたい分かるのですが、この事業を始めて4か月になりますが、市としてどのように評価されているのですか。

## 会長

資料3において市による事業の評価かと思う。ページ右側には改善基準があります。

利用者数をみると、運行開始直前は多く、1～2月では落ち込んでいます。今の段階で判断するのは難しいのですが、良く利用されていると思います。隣接する箕面市で運行しているコミュニティバス「オレンジゆずるバス」でも、同様の指標を設けているのですが、認知率が一定以上はあがらないというような状況です。箕面市でも、コミュニティバス「オレンジゆずるバス」が運行していることを知っていても、どこに停留所があるのか知らないということです。豊中市では、約78%の方が知っておられるとのことで認知率は高く、市だけでなく地域が主体となって、周知を頑張られたことかと思いますが。時期尚早とは思いますが、第三者的に見て、私はそう評価しておりますが、市としては、どのように評価されていますか。

## 事務局

現段階で評価を問われると難しいのですが、事業目的に照らし合わせて考えると、高齢者の日常生活を支えたいということで始めた事業です。将来にわたって継続して運行できるようにしたいという思いから、デマンドによる乗合タクシーを始めさせていただきました。利用状況をみると、高齢者が通院・買い物に利用いただいているので、想定通りに使われています。利用者数も1台あたり乗車人数も適切かと思います。

利用促進、認知率が高いが利用が少ないといった課題をふまえ、より使いやすいものとしたいと考えます。最初の一步としては、まずまずかと思っています。

## 会長

このような結果の情報を地元にも伝えることは重要であり、利用者数等の利用実態や評価について、地元は気にされていると思いますが、それを伝える方法として、何かお考えはありますか？

## 事務局

西部地域乗合タクシー運行開始前は、意見交換という形で行って行っていました。運行開始後も継続していくことを地元と約束していますし、実施計画（豊中市公共交通改善実施計画【交通不便地改善施策・西部地域編】）にも記載しています。よって、本資料の内容をベースに、速報値としてお伝えする会を近々にやりたかったのですが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、開催時期は調整中です。

## オブザーバー

今回初めて参加させていただきました。検証を丁寧にされており、今後伸びていくと思います。

資料3の2ページの中で、気になった点が3点あります。

1点目は、停留所別の利用状況。地域の人口密度の影響もあると思います。単純な乗降者数だけでなく、利用率という視点も入れては良いのではないのでしょうか。

2点目、定量的な指標だけでなく、定性的な指標も必要。乗合タクシーの形態なので、乗合による定性的な評価、例えば、ご近所の方と一緒に同乗となることによる効果等の意見が、意見交換会などで確認ができれば良いと思います。

最後は参考意見ですが、別の自治体で、妊産婦や乳児をお連れの方に丁寧にアンケートをすると、妊娠期、乳幼児期は自転車からバスやタクシー等の公共交通の利用が増えるという意見がありました。よって、そのような層の方に利用促進のアプローチをすると、新たな利用者層が開拓できるのではないのでしょうか。

## 事務局

停留所別の数値についてはご指摘の通りかと思います。半径300mを勢圏と考えており、数値は算出しているため、獲得率の様な形で算出し、参考としていきたいと思っています。

定性的な意見については、ご指摘の通りですが、どのようにとりまとめるのかという所があります。定性的な目標があって、定性的な指標かと思うので、地域と意見交換しながら、定性的な目標を整理したいと思います。

妊産婦・乳児をお連れの方については、非常に少ないサンプルではありますが、西部地域乗合タクシー利用者アンケート調査でその該当者が1組あり、意見を聞きました。子どもが生まれる前は、自転車で移動していたが、子供が生後5か月になって、今までは地域にこのような移動手段がなく困っていたのですが、新たに導入されて助かったという意見をいただきました。普段、公共交通を利用しない人にも、ニーズがある

と考えています。これをどのように、意見を収集するのが難しいので、課題として認識しながら検討を進めたいと思います。

## 委員

令和3年4月に改善する内容を反映させるとのことですが、地域に停留所を増やすのは、そこまで待たないといけないのでしょうか？利倉西地区は、猪名川の西側（右岸側）にあります。地区内にも、西側には旧猪名川の左岸堤防があり、地域が分離された形になっています。数ヵ所は尼崎市椎堂や東園田町とつなぐ道路があり、そちらのバス停へ行けるようになっていますが、バス停まで距離があります。そのため、どうしても利用しにくくなるので、緊急的に増設できないのでしょうか？

## 会長

基本的には協議が整えば、停留所の増設も可能となりますが、乗降場所等々を事前にご案内しなければならぬということもあります。本質的には広報の制約があると思いますが、いかがでしょうか。

## 事務局

運行開始前にもご指摘いただき、課題は認識しています。その一方で、10月から運行して、増設にむけて調整・検討していきたいとは思っています。現状の想いでは、令和3年4月には増設したいのですが、令和2年10月予定の道路運送法第4条許可による運行へ切り替わる時までに調整できるかどうかは、この場で明確には回答できないのですが、検討させていただきたいと思います。

## 会長

他にありますでしょうか。  
次第を先に進めたいと思います。次第2. 具体的実施施策の検討状況について、広範に渡るということですので、分割して進めさせていただきます。

## ●「2. 具体的実施施策の検討状況について」

## 事務局

（資料4・5について説明）

## 委員

資料4の5ページ。南部地域を対象とした乗合タクシーということですが、公共施設をまわって、地域の拠点となる阪急庄内駅に行くということで、良い事と評価しますが、資料4の5ページには、運行日が平日のみと記載していますが、なぜ休日はしないのでしょうか。

## 事務局

バス運行補助事業の対象路線である市立豊中病院線が平日しか運行していないためです。決定した話ではないので、運行日のニーズを踏まえて決定します。南部地域乗合タクシーは、市立豊中病院線の代替としての側面もあるため、現在の市立豊中病院線の運行状況に合わせております。

## 委員

西部地域と同様に、南部地域も休日運行を要望しておきますので、ご検討をお願いします。

## 事務局

承りました。

## 委員

東西軸路線バスについて、2点質問させていただきます。

東西軸路線バスの路線は、西側が JR 伊丹駅までとなっていますが、阪急伊丹駅までとすると利便性がより増すのではないかと思います。JR 伊丹駅で止める理由があるのでしょうか。

2点目はそれに付随する話ですが、今後の検討、実証実験の中で見直す余地はあるのでしょうか。

## 委員

阪急伊丹駅と JR 伊丹駅は、伊丹市の交通結節点となっています。また、伊丹市営バスの路線は、基本的に JR 伊丹駅と阪急伊丹駅を発着する形になっています。JR 伊丹駅と阪急伊丹駅間では、伊丹市営バスの運行頻度が非常に高い状況にあります。

## 会長

路線を阪急伊丹駅まで延伸させて、既存の路線と重複させる必要があるのか、渋滞も考慮してご検討をお願いします。既に JR 伊丹駅と阪急伊丹駅間でバスが多く走行しているのであれば、例えば、乗継割引等の検討の方が良いのではないのでしょうか。

## 事務局

東西軸路線バスの阪急伊丹駅までの意見について、資料 5 の 6 ページをご覧ください。

東西軸路線の考え方のうち 2 点目、基本的な考え方として、「異なる鉄道路線の鉄道を結ぶ」としています。需要予測でも収支の悪化が予想されているため、運行経費を可能な限り抑えるために、運行距離を短くしたいと考えます。JR 伊丹駅よりもさらに西方向に行くと渋滞（県道伊丹豊中線の神津橋付近や伊丹 1 丁目交差点（主要地方道尼崎池田線との交差点）等）しており、短い区間に見えて、渋滞により時間もかかります。豊中市域から超えて伊丹市域へ運行するバスへの赤字補填の妥当性の話もあります。また、伊丹市営バスとの競合関係にもなることから、実際は困難かと思っています。

当初はこの形でやらせていただきたいのですが、実験の結果を踏まえて、阪急伊丹駅までの需要が見込まれる、または要望が多いということであれば、検討していただきたいと考えております。

## 委員

市内の大きなターミナルから市外の大きなターミナルをつなぐと有効かと思えます。例えば、阪急三国駅（大阪市淀川区）には駅前広場ができています。市内だけの考えではなく、市と市が協議をして出来ないのでしょうか。

## 会長

今後も通じて議論させていただきます。東西軸路線バスも、継続的に議論させていただきたいと思います。それでは次の議題に入ります。資料6について、事務局から説明をお願いいたします。

## 事務局

(資料6について説明)

## 会長

ありがとうございます。

何かご質問、ご意見ございますか。

## 委員

シェアサイクルの導入にあたり、イニシャルコストやランニングコストは、市の負担を行っているのでしょうか。

## 事務局

シェアサイクルの業者選定は、プロポーザルで選定しているのですが、仕様書等で、市では経費を負担しないことを前提に募集しています。サイクルポートは、公共施設がほとんどであるため、それは無償で用地を提供し、サイクルポートの設置、シェアサイクルの運営に関しては、業者の費用でお願いしています。

## 会長

東西交通で鉄道を考えた時に、このようなシェアサイクル等々の末端交通が整備されることで、更にひとつの交通の整備による影響が広がるので、合わせてこういった施策が進められるのはすばらしいと思います。

## ●「3. 今後のスケジュールについて」

## 会長

他にご質問、ご意見ございますか。

それでは、次第3. 今後のスケジュールについてご説明をお願いします。

## 事務局

(資料7について説明)

## 会長

ありがとうございます。ご質問、ご意見ございましたらお受けしたいと思います。

## 委員

南部地域乗合タクシーの実施計画(豊中市公共交通改善実施計画【交通不便地改善施策・南部地域編】)は、事業者選定した上で、計画策定をするのですか。

## 事務局

大まかな方向性を素案としてお示しし、その内容で対応可能な事業者との協議を踏まえて、本協議会で策

定させていただきたいと思っています。西部地域の時も、本協議会に素案の形でおおまかな運行計画をお示しし、事業者の応募を行いました。運行事業者の知見等を踏まえた形で計画内容の精査を行い、最終の運行計画として、実施計画をお示しさせていただきました。西部地域については阪急タクシーにご協力いただいています。別途、この内容で運行できる事業者さんがいないか公募させていただいた上で、実際の細かい運行計画として、お示しをさせていただきたいと思っています。

## 委員

シェアサイクルについて、来年度以降もご報告いただきたい。

## 事務局

適宜、報告します。

## 会長

愛称は、西部地域乗合タクシーのみか、それとも西部地域・南部地域も同様ですか。

## 事務局

市全体を対象で、愛称を公募したいと考えています。どういった案が出てくるかによって、変わってくるかと思いますが、状況をみて検討していきたいと思っています。

## ●「4. その他について」

### 会長

それでは最後になりますが、市民委員のお二人につきましては、本日を以て任期が終了となります。さまざまなご意見を賜りまして、非常に貢献いただいたと思います。ありがとうございます。

最後に、一言ずつお願いいたします。

### 委員

市民委員として2年間、皆様と豊中市の公共交通計画を作り上げてきましたが、本日をもって退任ということになりました。

私達、市民委員は自分の住んでいる所を見て、広域を見るくせがあります。よって、皆さまとは違った視点を持っていました。その中で、当初、西部地域に交通空白地があるということで議論しましたが、このようにデマンド交通（西部地域乗合タクシー）が実現しました。皆様のお力で、少しずつ計画が出来上がったと思います。本日までお別れですが、今後とも市民の移動手段という観点から議論して、良い計画を作成させていただきたいと切に思います。費用対効果やルート等いろいろあると思いますが、皆さまのお知恵で、良い市民の移動手段を確保してほしいと思います。

### 委員

2年間、市民委員として公共交通について学ばせていただき、ありがとうございました。

私は、市民のニーズと行政施策ができるだけ近づいてくるように質問や意見を述べてきました。場違いのことを言ったこともあるかもしれませんが、公共交通ができるだけ市民の移動手段として、発展するように

という願いを込めて述べさせていただきました。これからは、一市民として、西部地域の乗合タクシーが持続し、改善されるよう行政の方でもよろしくお願ひしたいと思ひます。住民の方も、行事や催しを利用しながら、利用者が増えるように協力していきたくと思ひますので、よろしくお願ひします。

#### 会長

今後とも継続的にご意見賜りますよう、よろしくお願ひいたします。  
本日の案件は以上です。  
それでは、事務局にお返しします。

#### 事務局

ありがとうございました。以上をもちまして、第7回豊中市地域公共交通協議会を終了させていただきます。次回協議会につきましては、来年6月に開催を予定しておりますので、何卒よろしくお願ひいたします。本日は、お忙しい中、ありがとうございました。

#### ●閉会

以上